



# 鹿商高通信

2016

第11号

## 平成28年度 学習成果発表会



平成29年1月26日(木)、鎌田記念ホールを会場に本年度の学習成果発表会を行いました。今年度は大崎市誕生10周年ということもあり、『地域の資源を活用し、若者の観光客が思わず欲しくなる大崎市の逸品を提案せよ』というミッションのもと、「地域ビジネスプランニング」を受講している第3学年全員が6テーマ別に分かれ1年間研究してきました。

当日は、各テーマ毎にご協力とアドバイスをいただいたアドバイザーの方々をお迎えし成果を披露しました。研究内容及びアドバイザーの方々は以下のとおり。

テーマ	デリシャストマト	テーマ	ササニシキ
アドバイザー	デリシャスファーム(株)専務取締役 今野栄子 様	アドバイザー	(有)ダイアファーム 代表取締役社長 小堤孝志 様
チーム名	1組 KSK 2組 トマトのプロ 3組 ♡MAMO♡	チーム名	1組 ishikawa ch 2組 Dream Country 3組 Dear5
テーマ	甘酒・酒粕	テーマ	大崎市のギフトボックス
アドバイザー	(株)一ノ蔵 マーケティング室長 山田 好恵 様	アドバイザー	ブルーファーム(株) 代表取締役社長 早坂正年 様
チーム名	1組 YDK 2組 Challenge 3組 わっしょーい!!	チーム名	1組 アリメンティ TRIBE 2組 Tranquilo 3組 宮巻 迅
テーマ	岩出山の名物	テーマ	パタ崎さんのグッズ
アドバイザー	岩出山観光協会 会長 真山隆宏 様	アドバイザー	大崎市鹿島台総合支所地域振興課 商工観光担当技術主査 志賀 康英 様
チーム名	1組 Happiness Life 2組 Team ゆいぽ♡ 3組 チーム「ー」	チーム名	1組 TEAM つっき～ 2組 wings of shadow 3組 チーム大崎市

各チームには7分間の発表時間が与えられ、あるチームは実際に試作品をつくったり、またあるチームはアイデア名に洒落を取り入れたり、さらに「これって商品化も夢じゃないかも」と思わせる提案だったり、工夫を凝らした発表が目白押しでした。

大崎市鹿島台総合支所地域振興課 商工観光担当技術主査 志賀 康英 様は講評の中で、ある地域住民の方から「鹿島台商業高校の生徒さんが地域の行事に参加してくれてありがとうございます」というありがたいお話も紹介してくださいました。

収容人数の都合上、一般公開はできないのですが、自信をもってご紹介できる教育活動のひとつです。1・2年生はたっぷりと3年生の発表を堪能しました。



## 【もう見ていただきましたか？巨大壁画

鹿島台駅東西自由通路 西口階段踊り場】



西口階段で乗降客を出迎える縦3.7メートル、横5.8メートルの巨大壁画をご覧いただいた方も多いのではないのでしょうか。

昨年10月末の鹿商祭（文化祭）において、各クラスがA3版台紙（1センチ四方の色紙を約600枚貼る）およそ20枚分を分担し、文化祭実行委員がつなぎ合わせて完成させたもの。

通算4枚目となる今年度の作品は、昨年度までは校内展示（一般公開でご覧いただいた方もいるとは思いますが）にとどまっていたが、今年度は鹿島台ふれあい商店会（高橋秀晃理事長）にご尽力いただき、鹿島台駅舎内での展示が実現しました。ご尽力いただきました関係各所

の皆様へ感謝するとともに、微力ながら地域の活性化のお手伝いことができましたことを素直に喜びたいと思います。（平成29年1月31日河北新報と大崎タイムスに掲載されました）

## 【第4回キッズフェスティバル鹿島台・みやぎ高校生フォーラム】

上記の巨大壁画展示式（文化祭実行委員2名参加）と同日の平成29年1月28日（土）、鎌田記念ホールを会場に鹿島台子ども会育成会主催「第4回キッズフェスティバル鹿島台」が行われ、本校から生徒会役員7名がボランティアとして参加しました。今年度は、鹿島台に加え三本木と松山地域の子どもたちが参加し、当日は約800人の来場があったそうです。

本校生徒会役員は、主催者企画の「お化け屋敷」のお手伝いと、本校企画の「パソコンあそび（レシ早打ち）」を行いました。本校生徒会役員は、「後輩たち」になるかもしれない子どもたちに懇切丁寧に粘り強く対応しました。

さらに同日、生徒会長の佐藤 力侑 君と副会長の櫻井 菜留美 さんは、宮城県庁で行われた「みやぎ高校生フォーラム」に参加しました。今回は、「私たちの志と地域貢献」をテーマに県内各所から高校生が集まり、ポスターセッションで交流を深め、代表者によるパネルディスカッションがありました。

平成29年1月28日（土）は、本校生徒が3か所で大車輪の活躍をみせた一日となりました。

## 【快拳！ 第2学年 田澤 由伸君 1級三種目に合格】

本校第2学年に在籍する田澤 由伸 君（七ヶ浜町立向洋中学校出身）が、先月までに実施された検定試験において、通算三種目、(1) 第131回珠算・電卓実務検定試験 [1級電卓]、(2) 第56回情報処理検定試験 [1級ビジネス情報部門]、(3) 第56回ビジネス文書実務検定試験 [1級] に合格しました。

ある商業科教諭によると、「ここ10年近く本校では2年生時点での1級三種目合格者は記憶にない。快拳と言ってよい」とのこと。ちなみに、3年間で1級を取得できる検定数は9あります。英語検定以外の検定領域は高校入学後から学習を始める内容であり、高校入学後の努力の賜物であることは間違いありません。つまり、才能があるからではなく、誰でも合格できる力を身に付けることができることを示しています。まずは、田澤君の日頃の努力を称えたいと思います。

## 【これからの行事予定】

2月23日（木）第1・2学年学年末考査（～28日）  
28日（火）同窓会入会式、卒業式予行、

3月 1日（水）卒業式  
7日（火）公立高校後期選抜試験会場設営  
8日（水）公立高校後期選抜試験  
9日（木）家庭学習日（13日～16日）  
16日（木）公立高校後期選抜試験合格発表  
17日（金）第1・2学年成績発表  
24日（金）修業式  
29日（水）離任式

〒989-4104 大崎市鹿島台広長字李師前 44  
TEL 0229-56-2664 FAX 0229-56-2461  
HP <http://kasimadai-ch.myswan.ne.jp/>

■「学校（授業）って、なぜ行くの」と聞かれたら、あなたなら、どう答えますか。

■私は、「家でできないことをするために行く」と答えます。

■各家庭で、大人数（クラス単位なら30人以上、学年なら100人以上、学校全体なら300人以上）で何かをすることは不可能です。せいぜい10人くらいに限界でしょうか。

■つまり、「学校に来て、授業（行事）をみんなで受ける（する）ことに価値がある」のです。実は、成果や成績は二の次、なんです。

■「みんなで一緒にやること」がごろごろ転がっているところは、学校だけです。